

増補フレキシキュリティ日本語文献

日本でフレキシキュリティがはじめて話題になった 2005 年から 2015 年までの、フレキシキュリティ関連文献を収録している。オランダ・モデル、デンマーク・モデル、移動的労働市場論についての文献も収録した。もれている重要な文献もあると思われるので、教えていただきたい(2015.11.26)

2005

アマーブル(2005)『5つの資本主義』山田鋭夫ほか訳, 藤原書店

2006

木原隆司他(2006)デンマーク及び EU の雇用政策とその評価, 樋口美雄他編著『転換期の雇用・能力開発支援の経済政策』日本評論社

橋本俊詔(2006)『格差社会』岩波書店, 203 ページ

権丈英子(2006)パートタイム社会オランダ, 『社会政策学会誌』第 16 号

野川忍他(2006)『ドイツにおける労働市場改革/その評価と展望』労働政策研究・研修機構

水島治郎(2006)オランダにおける新たな雇用・福祉国家モデル, 『思想』No.983

2007

坂井澄雄(2007)フレキシキュリティ——デンマークの積極的労働市場政策, 『ビジネス・レバー・トレンド』労働政策研究・研修機構、2007 年 4 月号

2008

エイブラハムソン(2008)デンマークにおけるローカルガバナンスの変化, 山本隆他編著『ローカルガバナンスと現代行財政』ミネルヴァ書房

カッター(2008)コペンハーゲン・コンセンサス, 『論座』2008 年 5 月号

嶋内健(2008)デンマークにおけるアクティベーション政策の現状と課題, 『立命館産業社会論集』第 44 巻第 2 号

藤川恵子(2008)日本版フレキシキュリティ構築への課題, 『Work Review』Vol.3

2009

アグリエッタ他(2009)『金融資本主義を超えて』若森章孝・斉藤日出治訳, 晃洋書房

大和田敢太(2009)「オランダの労働法制改革におけるフレキシキュリティ理念と平等原則」, 『日本労働研究雑誌』第 590 号

小池直人(2009)岐路に立つ柔軟保障(フレキシキュリティ)——デンマーク的性格とその変容, 『社会文化形成』第 3 号

- 近藤正基(2009)『現代ドイツ福祉国家の政治経済学』ミネルヴァ書房、第5章
- 大和田敢太(2009)オランダの労働法制改革におけるフレキシキュリティ理念と平等原則、
『日本労働研究雑誌』No.590/September 2009
- 鈴木尊紘(2009)フランスにおけるフレキシキュリティ法制、『外国の立法』240,国立国会図書館調査及び立法調査局
- 馬場優(2009)オーストリアにおける労働市場の流動性と雇用の安定——オーストリア型フレキシキュリティの特徴——、『社会科学研究年報』第39号
- 松井裕次郎(2009)若年者の就業支援——EU, ドイツ, イギリスおよび日本の職業教育訓練を中心に——, 『総合調査 青少年をめぐる諸問題』
- 宮本太郎(2009)『生活保障——排除しない社会へ』岩波書店
- 柳沢房子(2009)フレキシキュリティ——EU 社会政策の現在——, 国会図書館調査及び立法考査局『レファレンス』2009.5
- 若森章孝(2009a)資産形成型成長体制の出現と新しい調整様式の創出, アグリエッタ他(2009)『金融資本主義を超えて』若森章孝・斉藤日出治訳, 晃洋書房
- 若森章孝(2009b)フレキシキュリティ論争とデンマーク・モデル, 『経済論集』第59巻第1号

2010

- 安孫子誠男(2010)「<労働—福祉ネクサス>論の問題圏」, 安孫子他編著『労働』勁草書房
- 荒井壽夫(2010)「フランスの現下の雇用政策に関する覚え書き——フランス型のフレキシキュリティか」, 『彦根論叢』(滋賀大学), 第382号
- 巖成男(2010a)韓国の労働市場における柔軟性と安全性の変化に関する研究、『京都エラスムス計画——JSPS大航海プログラム』研究成果報告書、第3章
- 巖成男(2010b)雇用に関する制度的調整の比較分析——フレキシキュリティによる社会単位の調整と日本の企業単位の調整——, 『経済論叢』(京都大学)、第184巻第2号
- 巖成男(2010c)『中国の経済発展と制度変化』京都大学出版会
- 嶋内健(2010)デンマーク福祉国家の歴史的変遷とシティズンシップ——救貧法からアクティベーションまで, 『立命館産業社会論集』第46巻第3号
- 鈴木優美(2010)『デンマークの光と影 福祉社会とネオリベラリズム』リベルタ出版
- 藤井将王(2010)非正規雇用労働者の増加に伴う課題と政策, 『香川大学経済政策研究』第6号
- 星野郁(2010)ヨーロッパにおける労働市場の改革の展開と課題、田中素香編著『世界経済・金融危機とヨーロッパ』第8章、勁草書房
- 保住敏彦(2010)ドイツ社会国家の制度進化? ——ハartz改革の影響をめぐって——, 進化経済学会2010年度大会
- 水島治郎(2010)雇用多様化と格差是正——オランダにおけるパートタイム労働の「正規化」

- と女性就労,安孫子誠男・水島治郎編著『労働』勁草書房
- 若森章孝(2010a)「デンマーク型社会経済モデルと交渉・信頼による調整」,『ソーシャル・キャピタルと市民参加』関西大学経済・政治研究所『研究双書』第150冊
- 若森章孝(2010b)「フレキシキュリティとデンマーク・モデル」,安孫子他編著『労働』勁草書房

2011

- 阿部彩(2011)『弱者の居場所がない社会』講談社
- 内山隆夫(2011)移行労働市場とフレキシキュリティ・アプローチ,Journal of Faculty of Economics,KGU,Vol.21,No.1
- 加藤壮一郎(2011)「デンマークのフレキシキュリティと知識経済の関係性——フレキシキュリティ概念とデンマーク・モデルの検討をとおして」,『経済科学論究』(埼玉大学)第8号
- 楠貞義(2011)住宅バブルの崩壊とスペイン経済の現状,『現代スペインの経済社会』勁草書房,第3章
- 巖成男(2011)労働市場の柔軟性と安全性の変化」,『中国の経済発展と制度変化』京都大学学術出版会,2011年,第8章
- 小池直人(2011)岐路に立つ柔軟保障(フレキシキュリティ)——デンマークの性格とその変容、名古屋大学社会文化形成研究会『社会文化形成』第3号
- 小杉礼子・原ひろみ編著(2011)『非正規雇用のキャリア形成』勁草書房
- 近藤康史(2011)ヨーロッパ福祉国家の現在とゆくえ,齋藤純一他編『社会保障と福祉国家のゆくえ』ナカニシヤ出版,2011年
- 権丈英子(2011)オランダにおけるワーク・ライフ・バランス——労働時間と就業場所の柔軟性が高い社会——,RIETI Discussion Paper Series,11-J-030
- 嶋内健(2011)デンマークの積極的雇用政策,『社会政策』第3巻第2号
- ジェトロ・コペンハーゲン事務所(2011)「デンマークの雇用政策」,『ユーロトレンド』2011.4
- 菅沼隆(2011a)デンマークの失業保険制度——失業金庫とフレキシキュリティ,『立教経済学研究』第64巻第3号
- 菅沼隆(2011b)デンマークの失業手当期間の短縮:フレキシキュリティの解体?,『週刊社会保障』2616号(2011年2月14日)
- 菅沼隆(2011c)デンマークの労使関係と労働市場,『社会政策』第3巻第2号
- 田中拓道(2011)脱商品化とシティズンシップ,『思想』No.1043(2011.3)
- 遠山弘徳(2011)流動的なヨーロッパ労働市場の出現と労働市場制度改革、静岡大学『経済研究』第15巻第4号
- 中野聡(2011)EUのフレキシキュリティ政策,『社会政策』第3巻第2号
- 西岡晋(2011)「多様な資本主義」と政治・福祉・労働,宮本太郎編『働く』風行社

廣瀬真理子（2011）オランダの労働市場と雇用政策、『社会政策』第3巻第2号
宮本章史・諸富徹(2011)「社会的投資国家」の経済思想、『思想』No.1047(2011.7)

2012年

荒井壽夫（2012）現代フランスの雇用戦略に関する一考察——フランス型フレキシキュリティ」と「職業的社会保障」、『滋賀大学経済学部研究年報』第19号
石田信平（2012）労働契約規制の規範的基礎と構造、『日本労働研究雑誌』第628号
岩田勝彦（2012）経済不況下における欧州諸国のフレキシキュリティ政策の現状、『海外社会保障研究』第179号
嶋内健（2012）就労アクティベーションからワークフェアへ？——デンマークの場合、福原・中村編著（2012）
中村健吾（2012）EUの雇用政策と社会的包摂、福原・中村編著（2012）
福原宏幸・中村健吾（2012）『21世紀のヨーロッパ福祉レジーム——アクティベーション改革の多様性と日本』糸の森書房

2013年

小林一幸（2013）積極的労働市場政策による経済成長：デンマークの施策とわが国への示唆、『知的資産創造』野村総合研究所
宮本太郎（2013）『社会的包摂の政治学』ミネルヴァ書房
矢澤朋子（2013）EUの雇用保護規制と労働市場政策、大和総研
若森章孝（2013）『新自由主義・国家・フレキシキュリティの最前線』晃洋書房

2014年

安孫子誠男（2014）移動的労働市場論と社会的排除・包摂、『千葉大学公共研究』第10巻第1号
安孫子誠男（2014）「書評：若森章孝『新自由主義・国家・フレキシキュリティの最前線』晃洋書房、2014」、関西大学『経済論集』第63巻第3-4号
江口国太（2014）雇用流動化で考慮されるべき論点、『日本労働研究雑誌』第647号
篠田武司・櫻井純理(2014) 新自由主義のもとで変化する日本の労働市場、『立命館産業社会学論集』第50巻第1号
ジェンス・ブントヴァド、小堀眞裕訳（2014）フレキシキュリティ：デンマークにおける労働組合の見解、『立命館法学』第353号

2015年

木村典弘(2015)G.シュミットにおける移動的労働市場論の枠組み、『千葉大学公共研究』第11巻第1号、千葉大学公共学会

- 太田美帆（2015）社会的経済政策から見る就労支援——スウェーデンにおける長期失業者の社会的包摂、福原・中村・柳原編著（2015）
- 嶋内健（2015）就労アクティベーションから教育アクティベーションへ——デンマークにおける公的扶助改革、福原・中村・柳原編著（2015）
- 中村健吾（2015）ユーロ危機にあえぐ欧州の経済と社会、福原・中村・柳原編著（2015）
- 福原宏幸（2015）多様化するアクティベーションと社会的包摂政策、福原・中村・柳原編著（2015）
- 福原宏幸・中村健吾・柳原剛司編著（2015）『ユーロ危機と欧州福祉レジームの変容』明石書店
- 若森章孝（2015）フレキシキュリティと移動的労働市場アプローチ、『財政と公共政策』第37巻第1号、財政学研究会